Roland

エレクトロニック・レイヤード・カホン

ELCajon EC-10

取扱説明書

日本語

© 2015 ローランド株式会社

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』(『安全上のご注意』チラシ)をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

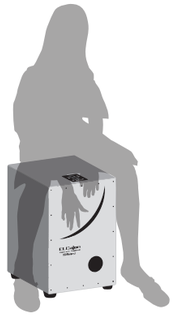
「ELCajon」（エルカホン）とは

Roland ELCajon（エレクトロニック・レイヤード・カホン）は、ローランド独自のセンサー／音源技術を用いて「アコースティックの音に電子音を重ねる」という新しい概念を持ったカホンです。

この新しい概念でカホンという楽器を音楽的に捉え直してみると、いろいろな演奏アイデアが生まれ、さまざまな音楽表現が可能になるでしょう。

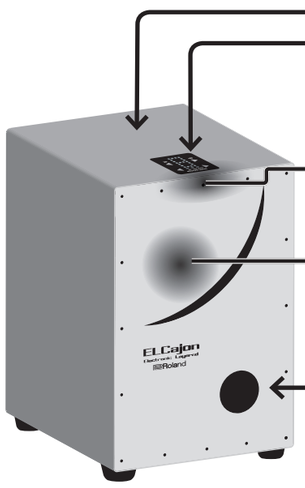
主な特長

- カホン本来の音の響きを活かしながら、さまざまな電子音を重ねることができます。
- 外部マイクや PA 機器がなくても、単体で迫力ある音量感が得られます。
- 軽量で持ち運びやすく、電池駆動なので、野外でも場所を選ばず演奏することができます。
- 大きなホールで演奏する場合、ELECTRONIC SOUND OUT（エレクトロニック・サウンド出力）端子を活用すれば、さらに迫力のあるサウンドが得られます。
- MIX IN 端子にオーディオ・プレーヤーをつなぐと、演奏しないときはスピーカーにもなる椅子としても使えます。



ぜひあなた自身の手で、この ELCajon の可能性を最大限に引き出してください。

各部の名称とはたらき



演奏打面

電子レイヤー音は、ヘッドとエッジの 2 種類の音があります。

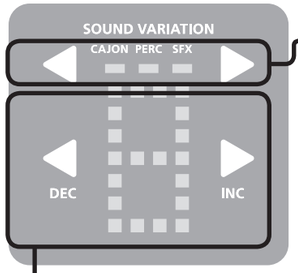
エッジ

この部分を叩くと各キットの「エッジ」の音が鳴ります。

ヘッド（演奏打面中央）

この部分を叩くと各キットの「ヘッド」の音が鳴ります。

トップ・パネル



サウンド・グループ選択ボタン

3 種類のサウンド・グループ（CAJON、PERCUSSION、SFX）を左右 2 つのボタンを使って選びます。

ミュート（消音）

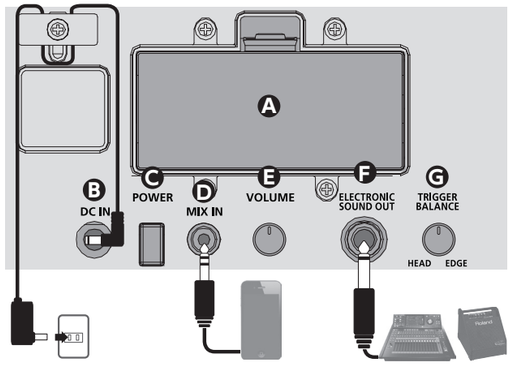
左右 2 つのボタンを同時に押すと、電子レイヤー音を鳴らさないミュート（消音）状態になります（3 つのインジケーターが消灯）。カホン本体のアコースティック音だけを演奏したいときに利用します。

キット番号選択ボタン

各サウンド・グループのキットの番号（1 ～ 9、0）を左右 2 つのボタン（DEC ／ INC）で選びます。

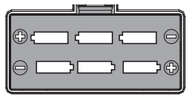
左右どちらかのボタンを長押しすると、番号を素早く切り替えることができます。

リア・パネル



Ⓐ 電池ボックス

ELCajon は、電池または付属の AC アダプターで動作します。電池で使用するときは、電池の向きに注意して、単 3 電池を 6 本入れてください。



※ 電池の寿命は、通常演奏での使用で約 12 時間です。**電池が消耗してくると「L」と点滅表示されます。**早めに電池を交換してください。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシ）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

Ⓑ DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード･フックに固定してください。誤ってコードを引っ張ってしまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、端子に無理な力がかかることを防ぐことができます。

Ⓒ［POWER］スイッチ

電源をオン／オフします。

Ⓓ MIX IN 端子

オーディオ･プレーヤーなどをつなぎます。この端子に入力された音は、ELCajon の内蔵スピーカーから出力されます。

Ⓔ［VOLUME］つまみ

内蔵スピーカーの音量を調節します。

Ⓕ ELECTRONIC SOUND OUT（エレクトロニック・サウンド出力）端子

各キットの電子レイヤー音を外部のアンプや PA 機器に出力します。特に低音を増強したいときに使用します。

※ ELECTRONIC SOUND OUT 端子に機器を接続したときは、必ず**本機→接続した機器の順に電源を入れてください。**手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。電源を切るときは、**接続した機器→本機の順に電源を切ってください。**

Ⓖ［TRIGGER BALANCE］（トリガー・バランス）つまみ

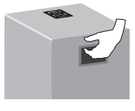
電子レイヤー音のヘッド／エッジのセンサーのバランスを調節します。「HEAD」側に回すとヘッド音が、「EDGE」側に回すとエッジ音が鳴りやすくなります。

ヒント

- ヘッドを叩いたときにエッジの音が鳴ってしまう多くの場合、手の指先でヘッドを叩いたと同時に、手のひらや手首側が意図せずエッジ付近を叩いていることがあります。その場合は、手首から先をしならせて、ヘッド打面を叩くようにしてください。

（背面）持ち運び用ハンドル

持ち運び際には、背面のハンドルを持ってください。



※ 持ち運びには、市販のカホン用キャリング・ケース（50 × 30 × 30cm）を使うことができます。

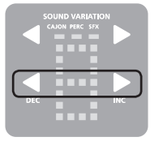
THRESHOLD（スレッショルド）設定

図の左右 2 つのボタンを同時に押すと、数字が点滅し、電子レイヤー音を鳴らすための打面を叩く強さを調節できます（1 ～ 9）。

THRESHOLD の値を大きくすると、強打したときのみ電子レイヤー音が鳴るようになります。

設定を終えるには、もう一度左右 2 つのボタンを同時に押します。

※ THRESHOLD の値は電源を切ると初期値に戻ります。

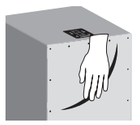


演奏する

⚠ 本体を傾けて使用する場合は、転倒や端子の破損にご注意ください。

1. アコースティック・カホンとしてのサウンドを体感してみよう

カホンは本来、どこを叩いても音が鳴る楽器ですが、ELCajon のアコースティック楽器としての響きを最大限に引き出すために、以下のような演奏方法をお勧めします。

叩きかた	説明	
ヘッド・ロー	打面の中央付近を手のひら全体で叩いて、低くて余韻のある低音を出します。 **メモ** 余韻の少ない、歯切れ良い低音を鳴らすときには、手の形を丸めて 5 本の指の先端が同時に打面にあたるように叩きます。	
ヘッド・タッチ	打面の中央付近を、鍵盤を弾くように指先の一本一本を使ってやわらかく叩きます。繊細で小さい低音を出します。	
エッジ・ハイ	打面の上部を、親指を除く 4 本の指全体で叩きます。ドラムのスネア音のような、使用頻度の高い高音を出します。 ELCajon には響き線がついていますので、叩く強さに応じて「ジャッ」というアコースティック音が入ってきます。	
エッジ・タッチ	打面の上部を、鍵盤を弾くように指先をやわらかく当てながら叩きます。静かで繊細な中高音を出します。 エッジ・ハイとは異なり、ゴースト音（リズム・キープや、低音と高音の合間をバランスよく埋めるための音）としてよく使います。	
スラップ	手のひらを指の付け根で L 字に曲げて、打面の上端を、親指を除いた 4 本の指の付け根を強く素早く当てて叩きます。 アクセントの効いた高い音を出します。	

2. 電子レイヤー音を鳴らしてみよう

トップ・パネルのボタンで、電子レイヤー音を選びます。

ヒント

- ELCajon には、ヘッドとエッジにそれぞれ別の音が設定されています。アコースティック音と同じように、電子レイヤー音も叩く大きさに応じて音の鳴りかたが変わります。
- ヘッド・タッチ／エッジ・タッチ奏法でやわらかく繊細に叩いた場合は、電子レイヤー音が鳴らないようになっています。
- 電子レイヤー音の音量は［VOLUME］つまみで調節してください。

サウンド・グループ

グループ	説明
CAJON	カホン本体のアコースティック音と電子レイヤー音をブレンドして、ひとつのカホン音色にすることを目的としたキットのグループです。 このグループの電子レイヤー音は、カホンの響き線のバリエーションとして作られています。
PERCUSSION	カホン本体のアコースティック音に、カホンとは別の多彩なパーカッション楽器を電子レイヤー音として追加したキットが入っています。 従来のカホンという枠や定義から離れて、さまざまなジャンルのパーカッション楽器を、この ELCajon 一台で演奏することができます。
SFX	いろいろな音楽ジャンルで、効果的に使われているサウンド・エフェクト類を多用したキットが入っています。 ※ ダンス・ビートなど、「4 つ打ち」の重低音をしっかり出したい場合には、ELECTRONIC SOUND OUT 端子を外部のアンプや PA 機器につなぐと、より迫力のあるサウンドが得られます。

キット・リスト

CAJON

No.	キット名	ヘッド音色	エッジ音色
1	アンビエント・カホン	カホン・ベース（リバーブ付）	カホン（リバーブ付）
2	プレイン・カホン	カホン・フット	カホン・サイド
3	ソフト・カホン	カホン・サム・ロー	カホン・サム・ハイ
4	スラップ・カホン	カホン・ベース（リバーブ付）	カホン・スラップ
5	バースト・カホン	カホン・サム・ロー	フラメンコ・クラップ
6	カホン&スプラッシュ	カホン・フット	シャイニー・スプラッシュ
7	カホン&クロス・スティック	カホン・サム・ロー	クロス・スティック
8	ウッド・スネア	ビンテージ・キック	ウッド・スネア
9	バジー・スネア	ヘビー・キック	バジー・スネア
0	スチール・スネア	プラグド・キック	スチール・スネア

PERCUSSION

No.	キット名	ヘッド音色	エッジ音色
1	カホン&タンバリン	カホン・ベース（リバーブ付）	タンバリン
2	タンバリン	タンバリン	タンバリン・ロール
3	カホン&シェイカー	カホン・フット	シェイカー
4	カシシ	カシシ・ソフト	カシシ・ソフト／ハード
5	ドール	ドール	ドール・スティック
6	ドール&スプラッシュ	ドール	シャイニー・スプラッシュ
7	カホン&サガット	カホン・ベース（リバーブ付）	サガット
8	ダラブッカ	ダラブッカ・ドン	ダラブッカ・テク／カ
9	ブガラブー&ジャンベ	ブガラブー	ブガラブー／ジャンベ
0	スルド	スルド・ミッド	ヘピニキ／スルド・ハイ

SFX

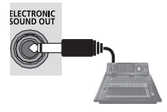
No.	キット名	ヘッド音色	エッジ音色
1	ファット・キック	ダブステップ・キック	ダブステップ・スネア
2	ワブル・キック	ジャンパー・キック	オールド・スクール・スネア
3	ハイブリッド 808	ハイブリッド・キック	TR-808 スネア
4	アフロ・ストンプ	アフロ・ストンプ	アンビエント・スネア
5	ジャンク	ロート・タム・ハイ	ジャンク
6	ワウ・ギター	ワウ・ギター・アップ	ワウ・ギター・ダウン
7	ポット・ドラム	ポット・ドラム・ホール	ポット・ドラム・ヒール
8	ティンバレス	ティンバレ・ミッド	ティンバレ・ハイ／ハイ・リム
9	クラーベ&チャイム	クラーベ	ツリー・チャイム
0	スクラッチ&ボイス	スクラッチ	ボイス

演奏時のアドバイス

■ ELCajon 全体の音を大きくしたい

ELCajon の打面（前面）のスピーカー・ホール兼バスレフ・ポートの前にマイクをセッティングし、アンプや PA 機器に接続することをお勧めします。

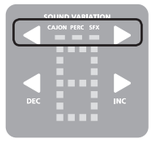
アコースティック本来の音と、ELCajonのスピーカーから出る電子レイヤー音のどちらもマイクで拾ってください。



■ 電子レイヤー音（特に低音）を大きくしたい

ELCajon のリア・パネルにある ELECTRONIC SOUND OUT 端子を使って、電子レイヤー音を外部のアンプや PA 機器に出力します。

外部 PA 機器から出力される ELCajon の音量は、PA 機器で調節してください。



■ 電子レイヤー音を出したくない

左右 2 つのサウンド・グループ選択ボタンを同時に押すと、瞬時にミュート状態に切り替わります。再度同じ操作をするとミュートは解除されます。

楽曲によって、また演奏の途中で電子レイヤー音色を鳴らさない場合は、この操作でミュートのオン／オフを調節してください。

■ 電池の消費電力を節約したい

- 演奏時以外は、電源をオフにしてください。
- MIX IN 端子に外部のオーディオ機器をつなぎ ELCajon で常に曲を再生しながら演奏すると、通常の演奏時以上に電池の消費量が多くなります。長時間にわたって楽曲の再生をする場合は、AC アダプターを使って電源を供給するか、オーディオ機器を PA などで再生するようにしてください。

主な仕様

ローランド EC-10：エレクトロニック・レイヤード・カホン（ELCajon）

電源	AC アダプター（DC5.7V） アルカリ電池（単 3 形）× 6
消費電流	250mA
連続使用時の電池の寿命	通常演奏での使用：約 12 時間 最大負荷での使用：約 6 時間 ※ 電池の仕様、容量、使用状態によって異なります。

外形寸法	295（幅）× 298（奥行）× 495（高さ）mm
質量（電池含む）	6.0kg
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、AC アダプター、保証書、ローランド ユーザー登録カード

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。